

研究課題番号	3RF-1802
研究課題名	セルロース繊維強化バイオマスプラスチックの開発
研究実施期間	平成 30 年度～令和 2 年度
研究機関名	大阪大学
研究代表者名	麻生 隆彬

1. 委員の指摘及び提言概要

バイオプラスチックの用途拡大につながる研究として評価できる。基礎的段階の研究であるが、その範囲で一定の成果を得ている。カルボン酸による修飾の効果を疎水性に変えるバイオプラ接合のコア技術として開発した単位技術として成果を上げている。一方で、早い時期の社会実装を実現してほしい。用途としてどのようなものが考えられるのか、検討が必要である。環境中での生分解性、PLA 製造段階における CO₂ 排出量の評価などの課題が残る。石油由来プラに代替できるものとなるよう、今後の進展に期待したい。カーボンニュートラルの観点からは、LCA 的な評価も今後必要であると考え。今後、環境・資源循環を直接に扱う研究や実務者との連携を図ることを期待したい。

2. 採点結果

評価ランク：A